ブロイラー農場設備

ターンキー方式で納入

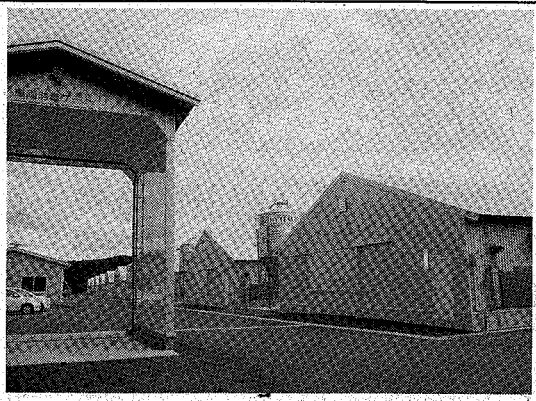
東洋システム 十文字グループに

東洋システム㈱（安田勝彦社長―本社・岐阜県各務原市金属団地九七―四）は、このほど岩手農協チキンフーズ㈱の基幹農場の一つである洋野（ひろの）ファーム（岩手県九戸郡洋野町）に、十棟二千六百坪の建物を含む鶏舎設備と関連設備を、ターンキー方式（施設全体をスイッチを入れれば直ちに使用できる状態で引き渡す方式）で納入した。

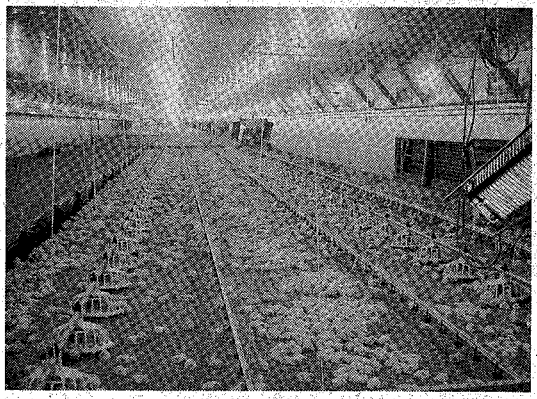
東洋システムは、レイヤー設備で蓄積した技術や、アフターサービス資源を活用し、更新期を迎えているブロイラー農場の設備でも実績を上げていることが高く評価され、大手インテグレーターの㈱十文字チキンカンパニー（十文字保雄社長―本社・岩手県二戸市）グループの岩手農協チキンフーズ㈱の洋野ファームに一連の設備を納入したもの。

納入した施設は、給餌、給水、暖房、換気、ファームコンピュータなどのほか、地元業者とタイアップした車両消毒ゲート、受電・非常用発電設備を含む一切の電気工事、貯水槽、鶏舎洗浄時の汚水処理装置、管理棟を含む場内の一切の建築・土木工事を含んでいる。

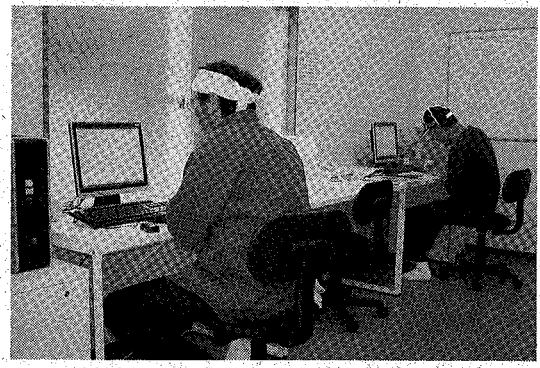
東洋システムでは、納入するブロイラー農場設備のポイントは、「え付けがしやすく給餌スペースに余裕のあるロクセル『ハイコー』、水もれの心配がないルービンニップル、ガス代を大幅に節減する給温システム、電気代を節減する換気システム、飼育管理をサポートするファームコンピュータシステム」にあるとしているが、生産者とのコミュニケーションを軸に、効率的でムダのない農場作りをしていくターンキー方式にも、今後継続的に取り組んでいきたいとしている。



洋野ファームの農場外観



え付け状況



精密飼育管理を効率よくサポートするファームコンピュータ